～力を合わせてそばづくり～

県道沿いを美しく

日置地区まちづくり協議会
環境部会（そば担当）
ふれあいそばづくり実行委員会

1年目のそばづくり

- 県道日置線の休耕田が雑草で覆われ、あたかも過疎化が進んでいる状況となり、日置を語る会で、沿線美化の為、同じ美化するなら花と実が楽しめるそばづくりをと提案したところ、多くの方に賛同頂き取り組みをスタートした。

収穫したそばでそば打ち教室を開きました。
そば打ちの大変さ（特にこね）を体験し、みんなで美味しくそば話に花を咲かせながら試食しました。
うどんのようなそばだったり、すすれないそばだったりもしましたが、自分たちで育てたそばの味は格別でした。
手伝っていただいた方に新そばの粉を配り家庭でも楽しんでもらいました。

2年目のそばつくり

２年目のそばづくりは日置地区の方、わしの子教室の子どもたちにも呼びかけ種まき、草取り、収穫親子でのそば打ち体験をしてもらいました。地区の人たちとの交流も合わせて行うことができました。

そば粉を使用した食のレパートリーを工夫（そば饅頭・そばかりんと）

３年目のそばづくり

～そばを基点として、城北地区と地域間交流を実施中！！～

８月５日城北地区の方、わしの子教室の子ども達、そばづくりメンバーで種まきをしました。

当日は、あおや和紙工房が１０周年記念行事事業のため、地域の方は前日に約４反の田んぼに種まきをしました。

種まきの後は、日置地区公民館で、地元の食材を使った料理を食べながら交流会を行いました。

種まきの後の交流会

炎天下での種まきを終え、お互いの地区の事、食べ物の事、今後の交流の事などいろいろなことを話しながら和やかな昼食会になりました。

ゴーヤの佃煮が大好評でした！！

そばの草取り

そばの草取りを8月27日と9月24日に行いましたが、そばの成長は早く、そばに埋もれながらの作業になりました。

そばの草取りで発見！！

そばの花は白く、実は黒いと思っていましたが、実る前はこんなにきれいで、かわいい色でした。

そばの収穫

実りの秋を迎え、そばの成長の早さに後押しされながら、待望の収穫をしました、収穫の喜びもさることながら、足腰の痛さよ・・・

今後もいろいろな形で城北地区の方との交流は進めていきます。
今月２５日には収穫祭として、そば打ち体験交流会を行います

今後のそばづくり

- 日置地区内でそば打ち達人を養成し地区で唯一の食事処べりぃさんにそばのメニューを加えて頂きＰＲしていく。
- そば粉生そばをレシピつきで販売。
- そばを中心に地域間交流を進め日置そばのファンづくりを図りながら、地区のブランド商品に育てたい。
- そば打ちの段位、そば打ち大会などを実施して、地区の方がいつでも家族団らんの中でそば打ちができるよう普及促進を図りたい。

課題・問題点

自治会・公民館・まちづくり協議会の役割について

- まちづくり協議会をたちあげて４年目になりますが、日置地区では、それぞれの位置づけが曖昧になっています。
- 現在日置地区では、地区の事はまち協で、集落の事は区長さんでと、おおむね取り組んでいます。地区の行事等はほとんど、まち協と公民館が共同で開催し順調に進んでいます。その為、公民館とまち協との境がなく、公民館職員がいると公民館事業？となり、まち協の認知度が低いです。
  まち協では毎月１回定例会（木曜会）を開催しています。この会に今後は区長さんも加わって頂きいろいろな問題点・行事等を話し合っていきたく思います。
- 自治会・まち協・公民館の役割をどのように考えておられるのか、お聞かせいただいて、地区の取り組みの有り方に反映していきたく思います。